ふしぎ文学半島プロジェクト 2025
ふしぎシンポジウム

『死』って何だろう？

～「本・図書館・哲学・怪・語り継ぎ」の現場から～

『死』って何だろう――？

自身も、大切な人も、必ず迎える『死』。けれど、向き合うことが、なぜか怖い。ためらう。でも…。
誰もが一度は抱いたことがあるであろう『死』を巡る不安、問い。知りたい、聞きたい、語りたい。
でも、誰に聞けば？　何を信じれば？この企画は、そんな素朴な思いから立ち上がりました。
このシンポジウムでは、「本・図書館・哲学・怪・語り継ぎ」に向き合う専門家たちが、座談会形式で『死』についてさまざまな目線で語り合います。

2025 12.7 日

午後 2時～4時（開場1時30分）

会場
田原文化会館 多目的ホール

定員 200 名（申込み受付順）・無料

申込み：11 月 4 日から図書館カウンター，電話，または Logo フォーム（QR コード）にて受付

主催：田原市図書館　企画：ばったり堂

登壇者（詳細は裏面）

岩内 章太郎
豊橋技術科学大学准教授 / 専門は現象学を中心とした哲学。全国で哲学対話を実施

島田 尚幸
妖怪文化研究家 / あいち妖怪保存会共同代表 / 私立東海中学校教諭 / 防災士

豊田 高広
フリー・ライブラリアン / フルライトスペース株式会社研究員 / 前・田原市図書館長

内浦 有美
株式会社うちうら（ばったり堂）代表。ファシリテーター兼登壇者

田原市図書館ホームページ
たはらしとしょかん
https://www2.city.tahara.aichi.jp/section/library/

問い合わせ、申し込みは
☎（0531）23-4946

tahara to 行こう♪
中央図書館

登壇者プロフィール

岩内　章太郎（いわうち　しょうたろう）

1987 年、札幌生まれ。早稲田大学国際教養学部卒業。同大大学院国際コミュニケーション研究科博士後期課程修了。博士（国際コミュニケーション学）。豊橋技術科学大学准教授。専門は、現象学を中心とした哲学。「市民性」と「共生」をキーワードにして、全国で哲学対話を実施。著書に、『星になっても』（講談社）、『＜私＞を取り戻す哲学』（講談社現代新書）、『＜普遍性＞をつくる哲学』（NHK ブックス）、『新しい哲学の教科書』（講談社）、『現象学とは何か』（共著、河出書房新社）、『交域する哲学』（共著、月曜社）など。

島田 尚幸（しまだ なおゆき）

名古屋市生まれ。妖怪文化研究家。あいち妖怪保存会共同代表。私立東海中学校教諭。防災士。ふるさと怪談トークライブ in 名古屋 / 静岡 / 田原 実行委員会 実行委員長。怪談・妖怪・文学などを題材とした講演会・トークイベントに出演、雑誌等でコラムも執筆。「大ナゴヤツアーズ」「やっとかめ文化祭」などで、妖怪や奇談・怪談をテーマにしたまち歩きの案内人も務める。著者・共著書に、「やりなおし高校の生物」（ナツメ社）、「亀ト」（東アジア恠異学会編／臨川書店）、「響鬼探究」（東雅夫・加門七海編／国書刊行会）、「怪異学入門」（東アジア恠異学会編／岩田書院）「愛知怪談」（竹書房）ほか。

豊田　高広（とよだ　たかひろ）

全国各地での図書館の計画策定・運営のコンサルティングと図書館司書育成をなりわいとするフリー・ライブラリアンです。1958 年に静岡市で生まれ、2010 年に田原市中央図書館長の公募に応じて単身赴任。2019 年 3 月まで務めたのち、静岡に戻りました。私なりの「死って何？」という問いへのアプローチの起点は、2012 年、田原市図書館の「ふしぎ文学半島プロジェクト」の立ち上げにかかわったことでした。そのご縁で、「鎮魂の芸術」といわれる能楽（謡）を習っています。高野山のある高野町の仕事では、阿闍梨から真言密教を学ぶ機会を得ました。その影響もあって、歩き遍路をしたり、森で瞑想したり。最近は生成 AI の力を借り、自分の夢を通じて深層意識と対話しています。今年から、地元のお寺で、月 1 回、死と喪失をテーマとした語り合いの場として「ロスカフェ」を友人と共に開催しています。いつか公共図書館でもやりたいものです。

内浦 有美（うちうら ゆみ）

豊橋市出身、在住。株式会社うちうら（ばったり堂）代表。2007 年に独立、地域資源の発掘・地域の魅力発信、人材育成支援に取り組む。2008 年リクルート・ワークス研究所客員研究員（「キャリア教育の評価」論文上梓）を経て、葉っぱビジネスで有名な徳島県上勝町へ活動拠点を拡大。全国の自治体や企業と協働しながら、地域ビジネスやキャリア、暮らしに関心のある若者を地域に呼び込む。2012 年に豊橋市にばったり堂を開設。「豊橋妖怪百物語」（豊川堂）を出版すると同時に、「豊橋妖怪パン祭り」などを企画・実施。「豊橋・田原 民話地図・民話掲載一覧 全 300 話」（東三河民話保存会）「愛知怪談」（竹書房）他。豊橋市教育委員、愛知大学綜合郷土研究所研究員、田原市図書館協議会委員、他。